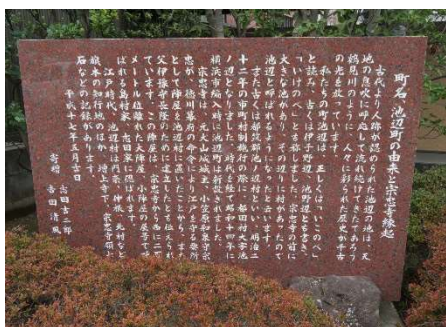


宗忠寺 横浜市都筑区池辺町 2704

開創年は寛文年間(1660年)頃で、浄土宗鎮西派で本尊は阿弥陀如来像。

この宗忠寺の前に大きな池があり、その辺りに村があったのでこの地域は池辺と呼ばれるようになったと云います。松平忠吉(徳川家康の四男)の筆頭家老で元犬山城主小笠原和泉守宗忠が、徳川幕府の命令により江戸を守る要所として陣屋を池辺村に置き父伊予守長隆の菩提を弔うために建立したとも伝えられています。(境内説明版)



道路脇に由来を記した説明版



山門が立派



山門の表上には龍が



山門の裏上には鳳凰が



延命地蔵がリアル



本堂から山門方面

